

平成28年度 行政評価の取組結果(建設局)

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)				H28年度		H27年度		人件費(目安)		事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由及び課題	H30年度予算要求に向けた施策の方向性
					指標名等	現状値(基準値)	H27年度	H28年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位					
I-1-(1)-⑥ 地域など と行政の 連携・協 働による 子育て支 援の推進	1	地域に役立つ公園づくり事業	みどり・公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	—	目標 20 公園	18 公園	—	171,100	188,056	147,148	6,825	課長 0.05 人	大変順調	ワークショップを概ね計画通り開催した。また、目標を上回る公園整備を実施したことから「大変順調」と判断。	順調	【評価理由】 地域と行政が連携して魅力ある公園づくりを進めるため、整備前にワークショップを行うなど、地域ニーズ等を反映する取り組みを推進している。 概ね計画どおり実施しており「順調」と判断。  【課題】 地域と行政が連携した魅力ある公園づくりを更に進める必要がある。	今後も継続して地域と行政が連携し、魅力ある公園づくりに取り組む。
	実績 19 公園	22 公園	—	20,000	18,783	58,588	3,075	課長 0.05 人	係長 0.10 人	職員 0.70 人									
I-1-(1)-⑥ 地域など と行政の 連携・協 働による 子育て支 援の推進	2	子どもの安全・成長に配慮した公園整備事業	緑政課	遊具などの公園施設を活用して、子どもが健やかに成長し、また、犯罪等に巻き込まれない安全・安心に配慮した公園となるよう、専門家の意見を聞きながら、公園整備を進める。	子どもの安全・成長に配慮した公園整備事業による整備公園数	—	目標 3 公園	1 公園	累計4公園(H28年度)	20,000	18,783	58,588	3,075	課長 0.05 人	順調	計画通りの公園数(1公園)を整備できており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 遠足で到津の森公園を訪れる小学生に対して、学習プログラムの提供を続けている。環境保全意識向上のための機会を提供できており「順調」と判断。	今後も継続して小学生への学習プログラムを提供する。
	実績 3 公園	1 公園	100.0 %	100.0 %	—	—	—	—	係長 0.10 人	職員 0.20 人									
I-3-(1)-② 教育関係 施設の連 携による 人材育成	3	【施策評価のみ】 到津の森公園による学習プログラムの提供	公園管理課	【施策の内容】 小学生を対象とした、動物や自然とのふれあいを通して命の大切さや自然環境の保護の必要性を学ぶプログラムの提供	【施策の指標】 「市民環境力」を高める意識が高まった状態	—	目標 —	—	—	—	—	—	—	課長 — 人	—	—	順調	【評価理由】 遠足で到津の森公園を訪れる小学生に対して、学習プログラムの提供を続けている。環境保全意識向上のための機会を提供できており「順調」と判断。	今後も継続して小学生への学習プログラムを提供する。
	実績 —	—	—	—	—	—	—	—	課長 — 人	係長 — 人	職員 — 人								
II-1-(4)-④ 総合的な 災害対策 の推進	4	河川改修事業の推進	水環境課	近年、ゲリラ豪雨や都市化の進展に起因する浸水被害が増加している。浸水被害を抑制するため、治水事業の根幹となる河川改修を推進する。	浸水被害の低減	—	目標 —	—	H45年度に河川毎に計画している降雨(1時間で50~70mm程度)に対応できる状態	1,713,400	2,652,009	2,133,727	86,500	課長 1.00 人	順調	河川整備率が目標を達成(目標:84%、実績84%)したため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 頻発する局地的豪雨などによる浸水被害を抑制するため、計画的に河川の整備を進めている。 事業は概ね予定どおり進捗しており「順調」と判断。  【課題】 計画的に河川整備を進める必要がある。	今後も継続して治水事業の根幹となる河川整備を推進する。
	実績 —	—	—	—	—	—	—	420,000	522,390	213,000	18,250	課長 0.50 人	係長 0.50 人	職員 1.00 人					
II-1-(4)-④ 総合的な 災害対策 の推進	5	且過地区まちづくりに伴う河川整備事業	神嶽川且過地区整備室	長年市民に親しまれている且過市場をさらに魅力ある商業拠点とするために、地元と協働で且過地区まちづくり整備計画を策定し、神嶽川の治水安全度を高める、河川事業を推進する。	神嶽川(且過地区)の治水安全度向上	—	目標 —	—	概ね50年に一度発生する降雨にも対応できるよう、神嶽川(且過地区)の治水安全度向上	420,000	522,390	213,000	18,250	課長 0.50 人	順調	神嶽川の護岸工事の目標(左岸側(馬借側)護岸L=40m)を達成したため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 頻発する局地的豪雨などによる浸水被害を抑制するため、計画的に河川の整備を進めている。 事業は概ね予定どおり進捗しており「順調」と判断。  【課題】 計画的に河川整備を進める必要がある。	今後も継続して治水事業の根幹となる河川整備を推進する。
	実績 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	課長 0.50 人	係長 0.50 人					

平成28年度 行政評価の取組結果(建設局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)					H28年度		H27年度		人件費(目安)		H28年度				H30年度予算要求に向けた施策の方向性			
					指標名等	現状値(基準値)	H27年度	H28年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由及び課題				
Ⅱ-2-(3)-④ 個人の健康づくりを支える環境の整備	6	健康づくりを支援する公園等整備事業	緑政課	公園に高齢者の健康増進に配慮した健康遊具を設置し、運動教室を開催して、利用者を使い方を説明する。継続的にこの健康遊具を利用することにより、高齢者の体力増進に繋げる。また、ウォーキングを通じた健康づくりをサポートする路面表示などを実施する。	高齢者に配慮した健康遊具の設置公園数	目標	1	公園	1	公園	累計20公園(平成29年度)	10,000	10,726	17,086	3,650	課長	0.10	人	順調	高齢者に配慮した健康遊具の設置公園数が目標を達成したため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民の健康づくりに資する。身近な公園における健康遊具の設置が順調に進んでおり「順調」と判断。 【課題】 高齢者の健康づくりを更に促進するため、環境整備を進める必要がある。	今後も継続して、市民の健康づくりに資する環境整備に取り組む。
						実績	1	公園	1	公園						係長	0.10						
						達成率	100.0	%	100.0	%						職員	0.20						
Ⅲ-1-(1)-③ まち美化活動の拡充	7	ボランティアネットワークの推進(道路サポーター)	道路計画課	市が維持及び管理する道路において、道路清掃・美化などのボランティア活動を行う地域の団体を対象に、清掃用具や花苗の支給などにより支援する。	道路サポーター加入団体数	目標	211	団体	216	団体	220団体(H30年度)	17,810	15,240	16,858	9,400	課長	0.05	人	順調	加入団体数が目標を達成しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 高齢化等の理由により解散する団体もある一方で、新たに結成された団体もあり団体数としては目標を達成できており「順調」と判断。 【課題】 団体数の維持・増加に向けた取り組みを推進する必要がある。	今後も既存団体の支援や団体数の増加に取り組む。
						実績	215	団体	222	団体						係長	0.17						
						達成率	101.9	%	102.8	%						職員	0.95						
	8	ボランティアネットワークの推進(公園愛護会)	公園管理課	10名程度の地域住民で組織されるボランティア団体で、公園の美化活動・公園施設の点検や禁止行為の連絡・公園利用者のマナーづくり・市民花壇づくりなどを行い、活動面積に応じて活動費を助成している。	公園愛護会の結成数	目標	1,160	団体	1,160	団体	1,160団体(毎年度)	45,456	45,565	45,054	18,135	課長	0.24	人	順調	会員の減少、高齢化により解散する団体も多い中、目標を達成できており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 高齢化等の理由により解散する団体もある一方で、新たに結成された団体もあり団体数としては目標を達成できており「順調」と判断。 【課題】 団体数の維持・増加に向けた取り組みを推進する必要がある。	今後も既存団体の支援や団体数の増加に取り組む。
						実績	1,169	団体	1,190	団体						係長	0.45						
						達成率	100.8	%	102.6	%						職員	1.45						
	9	ボランティアネットワークの推進(河川愛護団体)	水環境課	地域の住民で構成する河川愛護団体に清掃道具購入の費用等となることにより、美化活動を広げる。また、美化活動に参加することにより、地域の河川を身近に感じ、自分たちの川として愛着を持つような啓発活動へとつなげる。	河川愛護団体数	目標	69	団体	70	団体	72団体(H30年度)	2,450	2,310	2,406	440	課長	0.01	人	順調	高齢化や後継者不足等により活動の継続が困難な団体もあるものの、新規に結成された団体もあり、目標に近い団体数が活動しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 高齢化等の理由により解散する団体もある一方で、新たに結成された団体もあり団体数としては目標を達成できており「順調」と判断。 【課題】 団体数の維持・増加に向けた取り組みを推進する必要がある。	今後も既存団体の支援や団体数の増加に取り組む。
						実績	68	団体	65	団体						係長	0.01						
						達成率	98.6	%	92.9	%						職員	0.03						

平成28年度 行政評価の取組結果(建設局)

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)				H28年度		H27年度		人件費(目安)		H28年度			H30年度予算要求に向けた施策の方向性	
					指標名等	現状値(基準値)	H27年度	H28年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由		局施策評価
Ⅲ-1-(2)-① 魅力ある生活空間づくり	10	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇(公共花壇)の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ!花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。さらに特別緑地保全地区制度や保存樹制度を活用し、都市に残された貴重な緑の保全に努めていく。	市民花壇活動団体数	570団体(H27年度)	目標 583 団体 実績 570 団体 達成率 97.8 %	592 団体 566 団体 95.6 %	628団体(H32年度)	80,170	123,790	154,598	23,150	課長 0.10 人 係長 0.70 人 職員 2.00 人	順調	高齢化などの理由で解散する団体が増加し、市民花壇活動団体数は全体として減少したものの、特別緑地保全地区については、目標を達成しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 魅力ある生活空間をつくるため、街角の花壇整備や地域ニーズを反映した公園づくりを推進している。 市民花壇活動団体数は減少しているものの、市民ボランティア等との協働は着実に推進している。 また、地域ニーズ等を公園整備に反映するための計画を策定し、その計画に沿った整備も進捗しており「順調」と判断。  【課題】 魅力ある生活空間づくりを更に推進する必要がある。	今後も継続して、街角の花壇整備や地域ニーズを反映した公園整備など、魅力ある生活空間づくりに取り組む。
	11	地域に役立つ公園づくり事業	みどり公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	—	目標 20 公園 実績 19 公園 達成率 95.0 %	18 公園 22 公園 122.2 %	—	171,100	188,056	147,148	6,825	課長 0.05 人 係長 0.10 人 職員 0.70 人	大変順調	ワークショップを概ね計画通り開催した。また、目標を上回る公園整備を実施したことから「大変順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民に親しまれる水際線づくりを進めるため、環境に配慮した護岸整備を着実に推進できており「順調」と判断。  【課題】 治水面と環境面のバランスに配慮して事業を推進する必要がある。	今後も限られた敷地で最大限生態系に配慮して整備を推進する。
Ⅲ-1-(2)-③ 市民に親しまれる水際線・農山村風景づくり	12	身近に自然を感じる河川整備事業	水環境課	都市内に唯一残された貴重な自然空間である河川を、水際の植生や自然な流れの復元などにより、生物の生息・生育環境に配慮した整備を行うことによって、ホタルの飛翔や緑の増加など、身近に自然を感じる水辺環境整備事業を行っている。	環境に配慮した護岸整備	—	目標 — 実績 — 達成率 —	— — —	生態系に配慮した整備を行うことで、自然を感じる状態	255,000	372,500	540,300	25,750	課長 0.50 人 係長 0.50 人 職員 2.00 人	順調	環境に配慮した護岸整備延長が目標の35,300mを達成したため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民に親しまれる水際線づくりを進めるため、環境に配慮した護岸整備を着実に推進できており「順調」と判断。  【課題】 治水面と環境面のバランスに配慮して事業を推進する必要がある。	今後も限られた敷地で最大限生態系に配慮して整備を推進する。

平成28年度 行政評価の取組結果(建設局)

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)				H28年度		H27年度		人件費 (目安)		H28年度				H30年度予算要求に向けた 施策の方向性		
					指標名等	現状値 (基準値)	H27年度	H28年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業 評価	評価の理由	局施策 評価		局施策評価の理由及び課題	
Ⅲ-1- (3)-② 安心して 通行できる 身近な 道路の整備	13	バリアフリーの まちづくり	道路 計画課	高齢者や障害者など、 誰もが安全で快適に 通行できるように、バリア フリーのまちづくりを 進める。具体的には、 歩道の新設や拡幅、段 差解消、視覚障害者誘 導用ブロックの設置な どのバリアフリー化を 行う。	主要駅周辺地区の 主要経路の整備率	—	目標 90 %	91 %	95% (H30年 度)	858,902	849,665	926,639	26,150	課長 0.10 人	順調	関係団体と協議を行いなが ら、概ね計画通りに整備を進 めることが出来ており「順 調」と判断。	順調	【評価理由】 関係団体と協議しながら、 通学路の改善を要望対応や、子 どもから高齢者まで誰もが安 心して通行できる環境整備を 概ね計画通りに進めることが できており「順調」と判断。	今後とも誰もが安全で快適 に通行できる環境の整備を推 進する。		
	14	通学路の安全対策	道路 計画課	登下校中の児童が交通 事故に巻き込まれず、 安全に安心して通学で きる環境を整えるた め、教育委員会や学校 と関係者、警察と一体 となって、さらなる通 学路の安全対策を推 進する。	通学路の危険箇所 における対策完了 箇所数	—	目標 —	—	—	874,000	763,089	521,304	26,150	課長 0.10 人						順調	「北九州市通学路交通安全 プログラム」に基づき、道路 管理者や警察、学校関係者が 連携して通学路の安全対策を 実施しており、「順調」と判 断。
V-1- (2)-① 都心のに ぎわいづ くり	15	小倉駅・黒崎駅 前の賑わいづく りの推進	道路 計画課	北九州市の玄関口とな る小倉都心部と黒崎副 都心部の駅前におい て、魅力的な都市環 境の創造につながる道 路環境整備を行い、ま ちの賑わいを推進する。	歩いてみたくなる 歩行空間を創出	—	目標 —	—	歩いて みたく なる歩 行空間 の創出	1,640,700	1,352,974	1,863,216	61,500	課長 1.00 人	順調	平成28年度に予定していた 小倉駅(小倉城口)低天井の 改修工事が完了するなど、概 ね計画的に進捗しており「順 調」と判断。	順調	【評価理由】 都心のにぎわいづくりに資 する小倉駅南北公共連絡路 の整備、及び旦過地区のまち づくりに伴う河川整備を計画 通りに進めることが出来てお り「順調」と判断。	今後とも計画的に事業を進 める。		
	16	旦過地区まちづ くりに伴う河川 整備事業	神嶽川 旦過地区 整備室	長年市民に親しまれて いる旦過市場をさらに 魅力ある商業拠点とす るために、地元と協働 して旦過地区まちづく り整備計画を策定し、 神嶽川の治水安全度を 高める、河川事業を推 進する。	神嶽川(旦過地 区)の治水安全度 向上	—	目標 —	—	概ね50年 に一度発 生する降 雨にも対 応できる よう、神 嶽川(旦 過地区) の治水安 全度向上	420,000	522,390	213,000	18,250	課長 0.50 人						順調	神嶽川の護岸工事の目標 (左岸側(馬借側)護岸 L=40m)を達成したため「順 調」と判断。
V-1- (2)-② 文化・交 流、居住 機能を重 視した副 都心づく り	17	小倉駅・黒崎駅 前の賑わいづく りの推進	道路 計画課	北九州市の玄関口とな る小倉都心部と黒崎副 都心部の駅前におい て、魅力的な都市環 境の創造につながる道 路環境整備を行い、ま ちの賑わいを推進する。	黒崎駅南北自由通 路利用者数	4,500人 /日 (H24年 度)	目標 —	—	6,500人 /日 (H30年 度)	1,640,700	1,352,974	1,863,216	61,500	課長 1.00 人	順調	平成28年度に予定していた 黒崎駅南北自由通路(跨線 部)の桁製作が予定通りに完 了した。また、関係機関(JR九 州)とも協議を行いながら計 画的に整備を行うことが出来 ており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 黒崎副都心のにぎわいづ くりを資する黒崎駅南北自由 通路等の整備を、概ね計画通 りに進めることが出来ており 「順調」と判断。	今後とも計画的に事業を進 める。		
	18	自動車専用道路 ネットワークの 整備	道路 計画課	港湾・空港・鉄道ター ミナルなど、拠点間を 結ぶ交通・物流ネット ワークの構築や地域間 の連携・交流促進を図 るため、環状放射型自 動車専用道路ネット ワークの整備を推進す る。	朝ピーク時の響灘 地区～東田地区間 の所要時間	43分 (H21年 度)	目標 —	—	13分 (H39年 度)	1,500,000	3,729,482	1,806,331	69,000	課長 1.00 人						順調	平成28年度に予定していた 橋梁上下部工、地盤改良工、 舗装工を計画通りに完了して おり「順調」と判断。
V-2- (2)-① 広域物流 ネットワ ークの 強化	19	主要な道路の整備 (恒見朽網線 など)	道路 計画課	主要な街路・道路事業 を重点的かつ速やかに 整備することで、市内 の渋滞対策、物流ネット ワークの強化、地域 間の連携・交流促進を 図る。	新門司地区～北九 州空港間の所要時 間	36分 (H21年 度)	目標 —	—	28分 (H37年 度)	4,670,995	4,557,726	5,928,996	217,250	課長 3.00 人	順調	概ね計画的に進捗しており 「順調」と判断。	順調	【課題】 引き続き道路整備を進める 必要がある。			

平成28年度 行政評価の取組結果(建設局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)				H28年度		H27年度		人件費(目安)		H28年度				H30年度予算要求に向けた施策の方向性	
					指標名等	現状値(基準値)	H27年度	H28年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価		局施策評価の理由及び課題
V-2-(2)-② 市民の交通利便性の向上と産業活動の支援	20	自動車専用道路ネットワークの整備	道路計画課	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	朝ピーク時の響灘地区～東田地区間の所要時間	43分(H21年度)	目標 —	実績 —	達成率 —	13分(H39年度)	1,500,000	3,729,482	1,806,331	69,000	課長 1.00人 係長 2.00人 職員 5.00人	順調	概ね計画的に進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 広域物流ネットワークの強化に向けた交通網の整備を実施している。 戸畑枝光線をはじめとして主要な道路の整備を概ね計画通り進めることが出来ており「順調」と判断。 【課題】 引き続き道路整備を進める必要がある。	今後も計画的に道路整備を進める。
	21	主要な道路の整備(恒見朽網線など)	道路計画課	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州空港間の所要時間	36分(H21年度)	目標 —	実績 —	達成率 —	28分(H39年度)	4,670,995	4,557,726	5,928,996	217,250	課長 3.00人 係長 6.50人 職員 15.70人	順調	概ね計画的に進捗しており「順調」と判断。			
V-3-(1)-② 都市基盤の適正な維持管理	22	都市モノレール長寿命化事業(道路・街路)	道路維持課	北九州モノレールは、昭和60年に開業後、約30年が経過しており、軌道桁やそれを支える支柱等について、経年的な劣化が見られる。このため、劣化対策(耐震対策も含む)を行い、桁や支柱等、構造物の長寿命化や維持管理費の縮減を図り、市民の重要な交通機関であるモノレールの安全性・信頼性の確保を図る。	インフラ構造物の長寿命化を実施することで、モノレールの安全・安心な運行を確保	—	目標 —	実績 —	達成率 —	完了(H33年度)	890,100	913,856	1,028,103	57,375	課長 0.75人 係長 1.50人 職員 4.50人	順調	劣化対策等の長寿命化に向けた取り組みは概ね予定通りに進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 モノレール、橋梁、トンネルといった都市基盤の長寿命化を概ね計画どおりに進捗しており「順調」と判断。 【課題】 引き続き計画に沿って長寿命化を実施する必要がある。	引き続き計画に沿って長寿命化を推進する。
	23	橋梁・トンネルの長寿命化への計画的な取り組み	道路維持課	市内には、約2,000の橋梁と39本のトンネルがあり、高齢化・老朽化が懸念されている。そこで、従来の対症療法型補修を改め、予防保全型に移行するため、「北九州市橋梁長寿命化修繕計画」(H22.3)及び「北九州市トンネル長寿命化修繕計画」(H25.2)を策定した(H29.3改定)。本事業は、この計画をもとに、予防保全が有効な状態である健全度Ⅲ以上の橋梁とトンネルを増加させることで市民の安全・安心を確保する。	主要橋梁の健全度向上による市民の安全・安心の確保	—	目標 —	実績 —	達成率 —	全主要橋梁の健全度Ⅲ以上(H31年度)	1,774,000	1,508,891	2,636,094	100,150	課長 1.10人 係長 2.00人 職員 9.00人	順調	橋梁・トンネルのリニューアル工事については、概ね計画どおり(H27、28年度の目標22件、実績19件)に進捗しており「順調」と判断。			

平成28年度 行政評価の取組結果(建設局)

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)					H28年度		H27年度		人件費(目安)		H28年度				H30年度予算要求に向けた施策の方向性
					指標名等	現状値(基準値)	H27年度	H28年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由及び課題	
VI-1-(2)-② あらゆる主体による環境政策への参加の推進	24	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組み。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	—	目標 2,000人	2,000人	2,000人(毎年度)	2,600	2,674	2,674	1,120	課長 0.03人	順調	農業体験教室は目標の50回を上回る52回開催でき、目標を達成できており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 農業体験を通じた環境政策への市民参加を推進している。多くの機会を提供し、多くの市民に参加してもらうことが出来ており「順調」と判断。  【課題】 今後も継続して実施する必要がある。	今後も継続して農業体験教室を実施する。	
実績	2,328人	2,440人	—	—	—	係長 0.04人														
達成率	116.4%	122.0%	—	—	—	職員 0.05人														
VI-2-(1)-③ 総合的な緑化・森林整備の実施	25	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇(公共花壇)の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ!花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。さらに特別緑地保全地区制度や保存樹制度を活用し、都市に残された貴重な緑の保全に努めていく。	市民花壇活動団体数	570団体(H27年度)	目標 583団体	592団体	628団体(H32年度)	80,170	123,790	154,598	23,150	課長 0.10人	順調	高齡化などの理由で解散する団体が増加し、市民花壇活動団体数は全体として減少したものの、特別緑地保全地区については、目標を達成しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民花壇活動団体数は減少しているものの、市民ボランティア等との協働は着実に進んできている。また、特別緑地保全地区の買収も目標を達成できており「順調」と判断。  【課題】 総合的な緑化の取り組みを推進する必要がある。	今後も継続して街角の花壇整備など総合的な緑化を推進する。	
実績	570団体	566団体	—	—	—	係長 0.70人														
達成率	97.8%	95.6%	—	—	—	職員 2.00人														
特別緑地保全地区の買収面積	—	目標 17,092㎡	3,000㎡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	課長 0.50人	順調	環境に配慮した護岸整備延長が目標の35,300mを達成したため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民に親しまれる水際線づくりを進めるため、環境に配慮した護岸整備を着実に進んできており「順調」と判断。  【課題】 治水面と環境面のバランスに配慮して事業を推進する必要がある。	今後も限られた敷地で最大限生態系に配慮して整備を推進する。	
実績	14,510㎡	5,584㎡	—	—	—	係長 0.50人														
達成率	84.9%	186.1%	—	—	—	職員 2.00人														
VI-4-(1)-② 身近に自然を感じる都市づくり	26	身近に自然を感じる河川整備事業	水環境課	都市内に唯一残された貴重な自然空間である河川を、水際の植生や自然な流れの復元などにより、生物の生息・生育環境に配慮した整備を行うことによって、ホタルの飛翔や緑の増加など、身近に自然を感じる水辺環境整備事業を行っている。	環境に配慮した護岸整備	—	目標 —	—	生態系に配慮した行こうと、自然を感じる状態	255,000	372,500	540,300	25,750	課長 0.50人	順調	環境に配慮した護岸整備延長が目標の35,300mを達成したため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民に親しまれる水際線づくりを進めるため、環境に配慮した護岸整備を着実に進んできており「順調」と判断。  【課題】 治水面と環境面のバランスに配慮して事業を推進する必要がある。	今後も限られた敷地で最大限生態系に配慮して整備を推進する。	
実績	—	—	—	—	—	係長 0.50人														
達成率	—	—	—	—	—	職員 2.00人														

平成28年度 行政評価の取組結果(建設局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)				H28年度		H27年度		人件費(目安)		H28年度				
					指標名等	現状値(基準値)	H27年度	H28年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由及び課題
VI-4-(1)-③ 市民と自然とのふれあいの推進	27	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇(公共花壇)の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ!花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。さらに特別緑地保全地区制度や保存樹制度を活用し、都市に残された貴重な緑の保全に努めていく。	市民花壇活動団体数	570団体(H27年度)	目標 583 団体 実績 570 団体 達成率 97.8 %	592 団体 566 団体 95.6 %	628団体(H32年度)	80,170	123,790	154,598	23,150	課長 0.10 人 係長 0.70 人 職員 2.00 人	順調	高齢化などの理由で解散する団体が増加し、市民花壇活動団体数は全体として減少したものの、特別緑地保全地区については目標を達成しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民花壇活動団体数は減少しているものの、市民ボランティア等との協働は着実に進んできている。 また、農業体験を通して環境政策へ多くの市民に参加してもらうことが出来ており「順調」と判断。  【課題】 市民花壇活動団体数の確保に取り組む必要がある。	今後も継続して街角の花壇整備や農業体験教室など、市民が自然に触れ合う場や機会の提供を推進する。
	28	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学びの場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	—	目標 2,000 人 実績 2,328 人 達成率 116.4 %	2,000 人 2,440 人 122.0 %	2,000人(毎年度)	2,600	2,674	2,674	1,120	課長 0.03 人 係長 0.04 人 職員 0.05 人	順調	農業体験教室は目標の50回を上回る52回開催でき、目標を達成できており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 東九州自動車道沿線の福岡・大分・宮崎・鹿児島と協力、連携しながら、整備活動の要望を行っており「順調」と判断。	今後も沿線自治体と連携、協力して要望活動に取り組む。
VII-3-(2)-① 東九州地域との連携	29	【施策評価のみ】東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	道路計画課	【施策の内容】東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	【施策の指標】東九州自動車道の建設促進	—	目標 — 実績 — 達成率 —	— — —	東九州自動車道の建設促進	—	—	—	—	課長 — 人 係長 — 人 職員 — 人	—	—	順調	【評価理由】 東九州自動車道沿線の福岡・大分・宮崎・鹿児島と協力、連携しながら、整備活動の要望を行っており「順調」と判断。	今後も沿線自治体と連携、協力して要望活動に取り組む。